サ　ソ　リ　ノ　ー　ト

◇6月2日大阪府の植村茂氏（生物學關係文獻の蒐集家として有名）から寄送を受けた多數のサソリは何れもキョクトウサソリであつた。昭和18年當時の華北鐵路局が天津附近で集めたものであるという。

◇ミクロネシアのサソリはマダラサソリとヤエヤマサソリの2種きりで之等も元來ミクロネシアにいたものでなく他地から移つて來たのであろうと考えられる。ミクロネシアのサソリに關しては江崎博士の「南洋群島の蠍」(本誌 vol. viii, nos. 1/2 〔1943〕) を覽るのが一番便利である。既に内外の學者の採集調査が行き屆いているのでもうミクロネシアから別のサソリが報告されることはあるまいと想つていたのに, Senckenbergiana Band 26, Nummer 4 (1943年12月22日發行) にサイパン島から新サソリが記載されている由を江崎博士から承り御好意でその號を見せて頂くことが出來た。C. Fr. Roewer : Über eine neu-erworbene Sammlung von Skorpionen des Natur-Museums Senckenberg なる報文に出ている Urodacus marianus n. sp. というのがそれである。サイパンからの1♂をタイプとしそのタイプはドイツのゼンケンベルク博物館に所藏される。Urodacus というサソリは私は寫眞や繪で見るだけで標本を検する機會がないが濠洲本土特產で19種位ある。前年私は U. granifrons Kraepelin, 1916 という名は命名規約の上から存立出來ないことに氣づいたので U. kraepelini Takashima, 1945 と改稱したようなことがあり, 此の屬に關心を持つていたが, それがミクロネシアに見つかり而も新種とは意外千萬である。この雜誌を借して下さつた江崎教授はミクロネシアは曾て獨領當時濠洲と往き來がありその頃濠洲から移入したのが永く學者の目に觸れなかつたのではあるまいかと私に語られた。Roewer は由來に關しては何等言及していない。何れにしても Urodacus は濠洲本土だけでなくミクロネシアにも分布することになつた。頭胴長25粍, 尾長37粍でマダラサソリやヤエヤマサソリと紛れることのない姿である。　(高 島 春 雄)

國立自然教育園内の蜘蛛

私は文部省所管國立自然教育園（舊白金御料地で外務大臣官邸に隣り廣袤約8萬坪, 東京都港區芝白金台町）昭和24年度基礎調査動物部門調査員の1人として同年の春から秋の始めにかけ何回か採集の機を持つた。その時クモにも注意し採る度に植村利夫氏に鑑定して頂いた。年中お忙しい同氏をこんなことに度々患わしたのは相濟まぬ次第で厚く御禮申し上げる。曾て品川區で本會會員町田德治氏が採集したクモは20科72種に上つた。氏の御宅は好い環境の所で其處で丹念に蒐めたのでこの種數を得ている。私のは種名の判明したのは約40種に過ぎぬが（珍品も含まれていない）園内で克明に採集すれば120種位にな

るのは困難でないと考える。學名を省略したのは然るべきクモの參考書を覽れば大抵判るからである。

ヂグモ科 1 ヂグモ（巣のみ確認） **ウズグモ科** 2ウズグモ（オオウズグモ） **ヒメグモ科** 3ナリヒラグモ 4ヒメグモ 5アカイソウロウグモ **サラグモ科** 6アカムネグモ1種 Oedothorax sp. **コガネグモ科** 7キララグモ 8ビジョオニグモ 9オニグモ 10サツマノミダシ 11ウロコアシナガグモ 12ヤサガタアシナガグモ 13アシナガグモ 14コガネグモ 15コガタコガネグモ 16シロガネグモ（脱殻のみ） 17ジョロウグモ 18ゴミグモ **キシダグモ科** 19スジボソハシリグモ 20イオウイロハシリグモ **ドクグモ科** 21ウヅキドクグモ 22ハリゲドクグモ **タナグモ科** 23クサグモ 24ヤチグモ1種 Coelotes sp. **カニグモ科** 25キハダエビグモ 26ヤミイロカニグモ 27シロアヅチグモ 28ハナグモ 29スジシャコグモ 30ガザミグモ 31コノハエビグモ 32タンゴグモ 33ワカバグモ 34ハナグモ **ハエトリグモ科** 35 Sitticus pallicolor Boesenberg et Strand 36デーニッツハエトリ 37ネコハエトリ 38マミジロハエトリ **フクログモ科** 39ハマキフクログモ 40カバキコマチグモ **ワシグモ科** 41ワシグモ1種 Gen. et sp. indet. （高島春雄）

雜　　報

◇スウェーデンの Göteborg の博物館の Hans Lohmander 氏（蜘蛛學者）から今年4月本會宛次の報文別刷をお送り下さつた。答禮として本會からは戰後發行の本誌を纏めて送呈した。

Vorläufige Sinnennotizen —— Ark. f. Zool. Band 35 A, No. 16 (1944)

Zwei neue Chernetiden der nordwesteuropäischen Fauna——Medd. Göteborgs Musei Zool. Avdel. 82 (1939)

Arachnologische Fragmente 1-3——同上111 (1945) 此の內容は 1. Über eine für die schwedische Fauna neue Pseudoskorpionart（カニムシ） 2. Über die schwedischen Arten der Opilionengattung Oligolophus C. L. Koch（メクラグモ） 3. Die Salticiden-Gattung Neon Simon in Südschweden（ハエトリグモ）

◇原稿多くて載せきれず總目次や新しい會員名簿等は次號に廻します。

前　號　正　誤

頁	行	誤	正
52	−11	Lithodiomrpha	Lithobiomorpha
64	+10	オウゲジ屬	オオゲジ屬